

単元名 金融のしくみとお金の大切さ

令和3年11月17日(水) 第3学年 14名

1 単元目標と単元について

〈単元目標〉

現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解すること。【学習指導要領 B(1)ア(ウ)イ(ア)】
個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現する。

〈単元について〉

本単元、すなわち「金融」という単元、とりわけ「為替」は、生徒たちの経験や知見に照らしにくい学習である。そこでまず基礎的な知識と考え方を理解させる。大量の原材料を輸入しなければ成り立たない日本の物づくりも、生み出された製品が円滑に輸出できなければ成り立たない日本経済も、「為替」を通じて流通していることを理解させたい。CM等で目にする大企業が「たった1円の変動」に一喜一憂している現実も理解させたい。

〈本単元で育成しようとする資質・能力〉

思考力

〈単元を貫く問い〉

なぜ金融というしくみが必要なのだろうか。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準	金融・日本銀行・為替相場のしくみを理解し、貸し手借り手間の利益と損失や、円と外貨を交換する際の換算から為替相場について理解できる。	金融・日本銀行・為替相場の意味を理解し、個人や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、それぞれの被る利益と損失について説明できる。	銀行での実際の預金と融資の場面、またその関係性を考えながら仲介役としての金融の働きについて考えることが出来る。

3 本時の目標 【本時 3/3】

「円高ドル安」を日米それぞれの企業や消費者の立場で考えよう

4 生徒の実態

意欲的に学ぶ姿勢が見られる。聞く・書く・読むといった場面では申し分ないが、関連付けて考える・構造的にまとめる・分かりやすく表現するなどの場面では、苦手とする生徒もいる。中間や期末テスト等にあたっては、重要なポイントを解説するプリントの配布、小テストなどにより、学年平均で概ね60~70点を維持している。観点別では、テストごとに多少のばらつきが見られるが、「思考・判断・表現」の観点で取り組みが必要である。本時においても、そこを中心に指導。以下 NRT。

大領域別集計			観点別集計		
内容	正答率		内容	正答率	
	学級	全国		学級	全国
世界の様々な地域	68.3	56.9	思考・判断・表現	57.3	47.8
原始から古代の日本	62.1	52.5	資料活用の技能	66.2	58.9
中世の日本	57.3	49.4	知識・理解	68.3	56.5

5 本時の展開

	<p>学習活動</p> <p>◎発問 ●中心発問 ・予想反応</p>	<p>○留意点</p> <p>※個への手立て・支援 評価</p>
課題設定	<p>1 クロムブックで「本日の為替相場」を検索させて、「こういう場面をTV等で見たことあるか。」を想起する。</p> <p>◎「これは何を伝えようとしているのか。」</p> <p>◎「なぜこの情報が必要なのか。」説明させる。</p> <p>*例 1円の円高でトヨタの場合 360億円の損失!</p> <p>習得確認 2「資源の乏しい日本」「加工貿易」等に関連付けてノートにまとめる。</p> <p>課題設定</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">本時の目標:「円高ドル安」を日米それぞれの企業や消費者の立場で考えよう。</p>	<p>○リアルタイム為替レート - 三井住友銀行</p> <p>評価「貿易」を意識して説明している。</p> <p>「思考力」(発言)</p> <p>○日本は「貿易立国」であることを再確認できるように説明し、板書する。</p>
学び合い	<p>3 <為替相場の基本概念>を理解する。</p> <p>読む「p 158 円高と円安」→板書「為替相場」</p> <p>教師の説明を聞く。</p> <p>◎日米の企業の立場で、「円高・ドル安」の場合を考えてみよう。</p> <p>4 <為替相場も需要と供給の関係で決まる>ことを理解する。</p> <p>◎消費者の立場で、為替相場を考えてみよう。</p> <p>*「1ドル」が「200円→100円」と変化したら、数字上は「下がって」見えるが、これを「円高」、逆なら「円安」であることを確認する。</p> <p>5 例1～4の理由を説明する。</p> <p>●「為替相場」をいろいろな場面で考えてみよう。</p> <p>個人思考 ⇔ 集団・全体思考</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>例1》アメリカ旅行なら【 】の時が有利 なぜなら【 】だから</p> <p>例2》輸出中心の企業は【 】の時が有利 なぜなら【 】だから</p> <p>例3》海外旅行は、「輸出」or「輸入」? なぜなら【 】だから</p> <p>例4》人件費に変化がない場合、企業の海外進出が進みやすいのは【 】の時 なぜなら【 】だから</p> </div> <p>6 教師の説明を聞いて理解する。</p> <p>—日本から見て—</p> <p>「円高ドル安」の時に日本に有利なのは「輸入」</p> <p>「円安ドル高」の時に日本に有利なのは「輸出」</p> <p>読む:「p 159 為替相場の変化の影響」</p>	<p>○Wシート「円高ドル安の場合で考えてみよう!」と「模型」を使い、「額面」のことではなく「価値」の上下のことであると理解させる。</p> <p>○Wシート「お金も野菜も同じこと!」を使って考えさせる。</p> <p>※班机で教え合いを促す。</p> <p>評価個人思考で、自分の答え(数字や語句)が書けている。</p> <p>「思考力」(ワークシート)</p> <p>評価集団思考で、班内で教え合いをしている。</p> <p>「思考力」(行動)</p> <p>○企業や消費者の立場で考えた説明でなければならないという条件で、考えさせて解答させる。</p> <p>※可能な範囲で解答に挑戦させる</p>
振り返り	<p>7 板書してまとめる。</p> <p>*「産業の空洞化」等、為替相場の変動の影響も含めてまとめる。</p> <p>適用問題</p> <p>◎「為替相場」のしくみを自分流にシンキングツール(図)にして説明してみよう。</p> <p>本時のまとめ 本時のまとめ:為替相場は立場によってプラスにもマイナスにも働く。</p> <p>振り返り 振り返りシート</p>	<p>○プリントの図を活かして図を完成させる。</p> <p>評価「本時の目標」に対応した「まとめ」になっている。</p> <p>「思考力」(ワークシート)</p>